



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL http://www.intrance.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)麻生 正紀
 問合せ先責任者 (役職名)財務・法務部部长 (氏名)島田 勝博 (TEL)03(6803)8100
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,487	830.6	992	—	967	—	882	—
26年3月期第2四半期	589	7.4	△10	—	△66	—	△41	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 882百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △41百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.82	—
26年3月期第2四半期	△1.18	—

(注) 当社は、平成26年1月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、26年3月期第2四半期の1株当たり四半期純損失金額(△)を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
27年3月期第2四半期	3,420		2,867		83.8
26年3月期	5,044		1,984		39.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,867百万円 26年3月期 1,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期の期末配当予想については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	101.1	850	82.9	720	98.5	670	67.9	18.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	37,131,000株	26年3月期	37,131,000株
27年3月期2Q	60,400株	26年3月期	60,400株
27年3月期2Q	37,070,600株	26年3月期2Q	35,608,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年11月6日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催いたします。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う消費の落ち込み等により一時的な減速はあるものの、政府や日銀の各種政策が下支えするなかで、緩やかな景気回復基調が続きました。また、雇用環境が着実に改善するなかで、個人消費や住宅投資も底堅く推移し、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響は徐々に和らぎつつあります。

当社グループの属する不動産業界におきましては、不動産投資市場はエクイティ、デットともに資金調達環境が良好なことから、オフィスビルやホテルなどの高額物件の流動性が高まっております。また、賃料水準は2007年から約6年下落していましたが、ようやく底打ち感が見え始め、2014年には優良オフィスの賃料上昇が鮮明になると見込まれるなど、賃貸市況改善への期待が高まっております。

このような状況下、当社グループはプリンシパルインベストメント事業において、積極的な物件の仕入活動及び企画力を活かしてバリューアップした物件の売却活動に注力してまいりました。また、ソリューション事業においても、既存物件の管理強化を行うとともに、プリンシパルインベストメント事業と高いシナジー効果が期待できる新規の建物管理受託に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,487,811千円(前年同四半期比830.6%増)、営業利益は992,466千円(前年同四半期は営業損失10,772千円)、経常利益は967,546千円(前年同四半期は経常損失66,755千円)、四半期純利益は882,984千円(前年同四半期は四半期純損失41,842千円)となり、大幅増収増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、平成23年5月に購入した芝公園に所在するオフィスビルを結婚式場にコンバージョンし、高い賃料設定の一棟貸し収益物件として本年5月にREITに売却しております。また、平成25年8月に田園調布駅から徒歩12分に立地する8区画の宅地を購入し、当第2四半期連結累計期間に全ての区画の売却が完了いたしました。この結果、売上高は5,207,076千円(前年同四半期は380,525千円)、セグメント利益(営業利益)は1,131,020千円(前年同四半期は9,767千円)となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、既存物件の管理強化に加えて、新規の建物管理受託に取り組んだ結果、当第2四半期連結会計期間末時点における管理受託物件数は71件(前年9月末:44件)と順調に増加いたしました。一方、上記に記載の販売用不動産の売却により、当該物件の賃料収入が減少いたしました。この結果、売上高は162,885千円(前年同四半期比22.1%減)、セグメント利益(営業利益)は35,474千円(前年同四半期比64.6%減)となりました。

(その他)

その他事業におきましては、ハーブガーデンの運営・企画をする株式会社大多喜ハーブガーデンにおいて、売上高は117,849千円、セグメント損失(営業損失)は32,329千円となりました。今後は希少種ハーブの生産に特化し、販路拡大に注力してまいります。

第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益(又は損失)の測定方法を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の事業セグメントの利益(又は損失)に基づいております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,609,827千円減少し3,325,031千円となりました。これは主として営業出資金が1,000,000千円及び短期貸付金が600,000千円増加したものの、物件の売却により販売用不動産が3,240,757千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ1,623,602千円減少し3,420,540千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ570,458千円減少し464,869千円となりました。これは主として短期借入金が253,800千円減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,936,128千円減少しました。これは長期借入金の返済による減少1,936,128千円があったことによるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2,506,587千円減少し553,405千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ882,984千円増加し、2,867,135千円となりました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が882,984千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、310,340千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,106,140千円(前年同四半期は859,767千円の使用)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益967,516千円を計上し、営業出資金の増加1,000,000千円及びたな卸資産の減少3,240,658千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は852,375千円(前年同四半期は9,940千円の使用)となりました。これは主として定期預金の預入による支出250,000千円及び貸付けによる支出600,000千円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,323,123千円(前年同四半期は870,935千円の獲得)となりました。これは主として短期借入金の返済による支出331,800千円及び長期借入金の返済による支出2,095,028千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結・個別業績につきましては、下期は物件仕入に伴う資金調達費用などを見込む一方、活況な不動産市況を背景に、前回予想時点では見込んでおりませんでした大型物件売上の仲介手数料収入が下期に発生する見込みであります。

このような状況を踏まえ、下期も概ね当初の事業計画通りに推移することが予想されることから、業績予想の修正をするものであります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	389,700	570,340
売掛金	21,150	41,430
営業投資有価証券	127,733	126,395
営業出資金	260,000	1,260,000
販売用不動産	3,781,662	540,905
その他のたな卸資産	8,678	8,777
短期貸付金	—	600,000
その他	345,934	177,182
流動資産合計	4,934,859	3,325,031
固定資産		
有形固定資産	29,365	19,890
無形固定資産		
のれん	61,421	55,279
その他	864	766
無形固定資産合計	62,286	56,046
投資その他の資産	17,632	19,572
固定資産合計	109,284	95,509
資産合計	5,044,143	3,420,540
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,587	5,803
短期借入金	585,800	332,000
1年内返済予定の長期借入金	95,132	10,231
未払法人税等	31,129	145
賞与引当金	7,574	16,460
その他	309,104	100,228
流動負債合計	1,035,328	464,869
固定負債		
長期借入金	2,024,664	88,535
固定負債合計	2,024,664	88,535
負債合計	3,059,992	553,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	△49,782	833,202
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	1,984,151	2,867,135
純資産合計	1,984,151	2,867,135
負債純資産合計	5,044,143	3,420,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	589,703	5,487,811
売上原価	390,513	4,106,563
売上総利益	199,190	1,381,248
販売費及び一般管理費	209,963	388,782
営業利益又は営業損失(△)	△10,772	992,466
営業外収益		
受取利息	1,370	1,951
受取保険金	—	5,598
受取損害賠償金	—	27,319
受取手数料	359	—
その他	6	107
営業外収益合計	1,736	34,977
営業外費用		
支払利息	44,539	11,591
資金調達費用	11,829	48,294
その他	1,350	11
営業外費用合計	57,719	59,897
経常利益又は経常損失(△)	△66,755	967,546
特別損失		
固定資産除却損	—	29
特別損失合計	—	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△66,755	967,516
法人税等	△24,913	84,531
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△41,842	882,984
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,842	882,984

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,842	882,984
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△41,842	882,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,842	882,984
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△66,755	967,516
減価償却費	1,190	10,848
のれん償却額	—	6,142
賞与引当金の増減額(△は減少)	△202	8,885
受取利息	△1,370	△1,951
支払利息	44,539	11,591
資金調達費用	11,829	48,294
有形固定資産除却損	—	29
売上債権の増減額(△は増加)	2,108	△20,279
前渡金の増減額(△は増加)	△11,749	180,000
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	1,417	1,337
営業出資金の増減額(△は増加)	△100,000	△1,000,000
たな卸資産の増減額(△は増加)	△746,686	3,240,658
前受金の増減額(△は減少)	△8,542	△29,090
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	635	△99,515
その他の資産の増減額(△は増加)	629	39,279
その他の負債の増減額(△は減少)	63,009	△69,761
その他	1,851	—
小計	△808,094	3,293,984
利息の受取額	39	965
利息の支払額	△47,840	△19,968
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,871	△168,841
営業活動によるキャッシュ・フロー	△859,767	3,106,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△435
無形固定資産の取得による支出	△980	—
定期預金の預入による支出	—	△250,000
貸付けによる支出	△10,000	△600,000
その他	1,040	△1,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,940	△852,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	783,000	78,000
短期借入金の返済による支出	△1,330	△331,800
長期借入れによる収入	130,000	74,000
長期借入金の返済による支出	△324,000	△2,095,028
株式の発行による収入	345,094	—
少数株主への払戻による支出	△50,000	—
手数料の支払額	△11,829	△48,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	870,935	△2,323,123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,228	△69,359
現金及び現金同等物の期首残高	264,677	379,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	265,905	310,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	計 (注)2
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	380,525	209,178	589,703	—	589,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	380,525	209,178	589,703	—	589,703
セグメント利益又は損失 (△)	9,767	100,252	110,020	△120,793	△10,772

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,207,076	162,885	5,369,962	117,849	—	5,487,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,207,076	162,885	5,369,962	117,849	—	5,487,811
セグメント利益又は損失 (△)	1,131,020	35,474	1,166,494	△32,329	△141,699	992,466

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない株式会社大多喜ハーブガーデンに関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更

従来、事業セグメントの損益については売上総利益ベースの数値を利用しておりましたが、当連結会計年度より、経営管理上利用している損益を売上総利益から営業損益に変更しております。セグメント損益測定の詳細化を図ったことに伴い、第1四半期連結会計期間から、事業セグメントの損益を営業損益ベースの数値に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の測定方法により作成したものを記載しております。